

令和7年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業実績

1 事業活動方針

障がいのある方の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がいのある方の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、2021年に開催された東京2020パラリンピック、2024年に開催されたパリパラリンピック及び2025年に本県でサッカー競技が開催されたデフリンピック等によりスポーツへの関心が高まっている。このような状況を最大限活かし、これまで以上に障がいのある方が日常的にスポーツに親しむことができる文化を創出するとともに、障がいのある方とない方が一緒にスポーツを楽しむことができる環境を推進するための取組を実施する。

2 事業概要

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がいのある方が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するため、県内で活動する各団体の活動への支援や、県障がい者スポーツ大会等の開催、全国障害者スポーツ大会への福島県選手団の派遣を行い、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図った。

【実績】

① 障がい者団体スポーツ活動支援事業

- ・ 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 7件

② 福島県障がい者スポーツ大会開催事業

- ・ 第63回福島県障がい者スポーツ大会の開催
開催日：令和7年5月18日（日）、25日（日）
場 所：郡山市ほか
参加者：1,295名（うち、選手793名、役員及びボランティア502名）
種 目：陸上、フライングディスク、卓球、サウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、ツインバスケットボール、グランドソフトボール、アーチェリー、水泳、ボッチャ、バスケットボール、サッカー

③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業

- ・ 第24回全国障害者スポーツ大会滋賀大会への選手団派遣
派遣期間：令和7年10月23日（木）～10月28日（火）（5泊6日）
派遣人数：66名（うち選手33名、役員33名）

(2) 公認パラスポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導員及びボランティアの養成が必要不可欠であることから、地域で活動する指導員等の育成のための講習会の開催や、資格取得のための支援、地域の特色に合わせたマネジメントができる環境整備推進に向け指導者協議会の運営を支援した。

【実 績】

① 初級パラスポーツ指導員養成講習会開催事業

- ・ 令和7年度初級指導員養成講習会の開催
開催日：令和7年7月12日（土）、7月13日（日）、7月19日（土）
場 所：郡山市障害者福祉センター
受講者：14名

② 公認パラスポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）

- ・ パラスポーツトレーナー養成講習会を受講したトレーナー1名に助成した。

③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業

- ・ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会の各部活動費として助成金を交付した。
- ・ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営を支援した。

（3）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備した。

【実 績】

① 選手指導者組織育成支援事業

- ・ 4名の選手（ボッチャ競技2名、ゴールボール競技1名、スキー競技1名）の活動を支援した。
- ・ 卓球競技団体の組織再編を支援した。

② 団体競技強化支援事業

- ・ 全国障害者スポーツ大会のブロック予選会等に出場する4競技団体の強化活動を支援した。

（4）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

スポーツをきっかけとして、障がいのある方の積極的な活動を通じた社会参加と自立を促進するため、選手の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、次世代を担う選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

【実 績】

① 各種助成事業

- ・ 全国大会等出場助成金 6件（個人2件、団体4件）

② 運動導入教室開催事業

障がいのある方が運動等を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う教室を開催した。

- ・ 全99回実施、延べ799名参加

③ 地域スポーツ教室開催事業

福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部が開催する地域スポーツ教室及び地域スポーツ大会の開催費用の一部を助成した。

- ・ 教室 全 56 回実施、延べ 1,469 名参加
- ・ 大会 全 4 回実施、253 名参加

④ 種目別スポーツ教室開催事業

障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催した。

- ・ 12 種目 全 80 回、延べ 1,137 名参加

⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業

県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援した。

- ・ 5 団体（5 大会）の開催費用の一部を助成

⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業

本県にゆかりがあり、本県障がい者スポーツの発展の一翼を担う次世代アスリートを指定し、選手が行う強化活動に要する費用を支援した。

- ・ 20 名をふくしまネクストアスリートに指定し、活動を支援した。

⑦ ふくしまシャイニングスタープロジェクト

優れた素質や潜在的な能力を持つアスリートの原石を発掘し、将来的に本県を代表する選手として国内や世界で活躍する次世代パラアスリートの輩出を目指すため、県内在住の障がいのある方を対象に体力・身体測定会や競技体験を実施した。

- ・ 令和 7 年度ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクトの開催

開催日：令和 8 年 1 月 25 日（日）

会 場：郡山市障害者福祉センター、郡山市香久池保育所

参加者：12 名

（5）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒にスポーツに親しみ、互いの理解を深めてもらうことが重要であるため、学校や総合型地域スポーツクラブを始めとした県内の様々な団体からの要望に応じた競技体験等による出前講座の実施や、県内で開催されるスポーツイベント等における体験ブースの出展などによる、障がい者スポーツの魅力発信に取り組むとともに、県内の大学等と連携したサポーター（支援者）の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備した。

また、協会広報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信・情報提供を行った。

【実績】

① とともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業

ア パラアスリート等によるスポーツ教室

競技としてのパラスポーツの魅力発信や競技に取り組む障がい者への理解促進を図るため、学校、地域団体、企業、福祉団体、市町村等に出向いての実施やスポーツイベントへの出展、各種スポーツ教室での特別講師としての招聘など、様々な機会を捉えて、実施した。

- ・実施回数：全12回、参加者数：1,053名

イ インクルーシブなスポーツ体験

障がいのある人とない人がともに楽しむことができ、ボッチャ、卓球バレーなど手軽に楽しむことができるスポーツを中心とした体験会を実施した。

- ・実施回数：全55回、参加者数：2,003名

ウ パラ・デフスポーツ体験イベント・ブース出展等の実施

障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体や競技団体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合、イベント等でのブース出展も行った。

- ・実施回数：全9回、参加者数：1,071名

エ ボッチャふくしまカップ2025の開催

障がいの有無や性別、年齢、国籍等に関係なく、全ての人が同じ場で共にスポーツに親しみ、競い合う機会を創出する企画として、ボッチャ競技による全県規模の大会を初めて開催した。

- ・実施回数：全1回、参加者：47チーム（182名）

オ サポーター養成講習会の開催

県内の医療関係の大学等と連携し、学生等を対象とした障がい者スポーツに関する講習会を開催した。

- ・実施回数：全3回、参加者：98名

カ 障がい者スポーツ用具の貸出事業

障がい者スポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、競技用具等について貸出を行った。

- ・貸出件数：全18件

キ 県内プロスポーツチームの公式戦等におけるデフリンピック機運醸成

「東京2025デフリンピック」のサッカー競技の本県開催に向けた機運醸成を図るため、県や県内プロスポーツチーム等と連携し、公式戦等で周知・広報を実施した。

- ・ホームゲーム期間中のPR資材配布
- ・選手出演の動画作成・配信

ク 国際手話通訳テキストの無料配布事務

大会の開催を契機としたろう者の文化の理解促進に向け、国際手話に係るテキストについて広く県民に配布した

- ・配布冊数：43冊

② パラスポーツVR体験事業

重度障がい児・者のスポーツ参加を目的に、VR等によるスカイスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさを伝え、笑顔を届けるとともに、障がいのある子どもたちの将来の自分づくりに向けた夢や希望を育み、未来へ挑戦するきっかけを提供することを目的とした事業を実施した。

- ・ 実施回数：全1回、参加者：97名

③ 協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

協会広報誌（令和8年版）の発行、各種SNSでの情報発信

（6）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を行うとともに、県内の障がい者スポーツ医等の有識者との情報共有を図った。

① 各種障がい者スポーツに関する情報収集

地域ブロック単位や全国単位の会議等への出席した。

② 障がい者スポーツ医学委員会との連携

医学委員会の委員及び協会職員との間で情報交換などを行った。

（7）協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図るため、理事会や評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受け、運営体制の強化を図った。

3 事業区分別事業実績

【公益事業】(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	256,660円
概要	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	事業実績 本県障がい者スポーツの推進に寄与し、障がいのある方を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成した。 (1) 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 【団体活動支援：フォローアップ助成】 助成先：5団体 助成額：150,000円 ・特定非営利活動法人川俣町セルブかえで (30,000円) ・喜多方市身体障がい者福祉会 (30,000円) ・Let`s にしごう (30,000円) ・TEAM まきばの朝 (30,000円) ・おのさくらクラブ (30,000円) (2) 県内新規障がい者スポーツ団体への助成 【新規活動支援：スタートアップ助成】 助成先：2団体 助成額：100,000円 ・社会福祉法人あおぞら福祉会 (50,000円) ・福島パラ卓球連盟 (50,000円) ※ 決算額には団体への振込手数料含む。		
参考	令和6年度実績 (1) 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 助成先：6団体 助成額：180,000円 (2) 県内新規障がい者スポーツ団体への助成 実績なし		

事業名	②福島県障がい者スポーツ大会開催事業	決算額	6,902,520円																																										
概要	障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がいのある方に対する理解を深めることを目的に大会を開催する。 なお、本大会は、全国障がい者スポーツ大会個人競技の予選を兼ねるものとするが、全国大会派遣種目及び選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。																																												
内容	事業実績 下記のとおり開催した。 期 日：令和7年5月18日（日）及び25日（日） 競技種目・会場は以下のとおり <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th><th>競技種目</th><th>障がい種別</th><th>会場</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">5月18日（日）</td><td>陸上競技</td><td>身体・知的・精神</td><td>田村市陸上競技場</td></tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td><td>身体・知的・精神</td><td>田村市運動公園多目的広場 田村市総合体育館（荒天時）</td></tr> <tr> <td>卓球競技</td><td>身体・知的・精神</td><td>郡山市西部体育館</td></tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td><td>身体</td><td>福島県立視覚支援学校体育館（※福島市）</td></tr> <tr> <td>車いすバスケットボール競技 ツインバスケットボール競技</td><td>身体</td><td>郡山市障害者福祉センター体育館</td></tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td><td>身体</td><td>福島県立視覚支援学校体育館（※福島市）</td></tr> <tr> <td>バレーボール競技</td><td>身体・精神</td><td>郡山市西部体育館</td></tr> <tr> <td rowspan="5">5月25日（日）</td><td>水泳競技</td><td>身体・知的・精神</td><td>郡山しんきん開成山プール</td></tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td><td>身体</td><td>白龍山アーチェリーレンジ（※会津若松市）</td></tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td><td>身体</td><td>郡山市西部体育館</td></tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td><td>知的</td><td>宝来屋ボンズアリーナ</td></tr> <tr> <td>サッカー競技</td><td>知的</td><td>郡山市熱海フットボールセンター</td></tr> </tbody> </table> 参加者：1,295名（選手793名、役員・ボランティア502名） ○第24回全国障害者スポーツ大会福島県代表選手選考委員会 期 日：令和7年6月第1週（書面により実施）			期日	競技種目	障がい種別	会場	5月18日（日）	陸上競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市運動公園多目的広場 田村市総合体育館（荒天時）	卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県立視覚支援学校体育館（※福島市）	車いすバスケットボール競技 ツインバスケットボール競技	身体	郡山市障害者福祉センター体育館	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校体育館（※福島市）	バレーボール競技	身体・精神	郡山市西部体育館	5月25日（日）	水泳競技	身体・知的・精神	郡山しんきん開成山プール	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ（※会津若松市）	ボッチャ競技	身体	郡山市西部体育館	バスケットボール競技	知的	宝来屋ボンズアリーナ	サッカー競技	知的	郡山市熱海フットボールセンター
期日	競技種目	障がい種別	会場																																										
5月18日（日）	陸上競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場																																										
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市運動公園多目的広場 田村市総合体育館（荒天時）																																										
	卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館																																										
	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県立視覚支援学校体育館（※福島市）																																										
	車いすバスケットボール競技 ツインバスケットボール競技	身体	郡山市障害者福祉センター体育館																																										
	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校体育館（※福島市）																																										
	バレーボール競技	身体・精神	郡山市西部体育館																																										
5月25日（日）	水泳競技	身体・知的・精神	郡山しんきん開成山プール																																										
	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ（※会津若松市）																																										
	ボッチャ競技	身体	郡山市西部体育館																																										
	バスケットボール競技	知的	宝来屋ボンズアリーナ																																										
	サッカー競技	知的	郡山市熱海フットボールセンター																																										
参考	令和6年度実績 会 場：会津若松市を中心に開催 参加者：1,275名（選手778名、役員・ボランティア497名）																																												

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	14,146,003円
概要	福島県障がい者スポーツ大会に出場した選手のうち、福島県代表選手選考委員会で選考された選手を本県代表として派遣する。また、北海道・東北ブロック予選会を突破した団体競技について本県代表として本戦へ派遣する。		
内容	事業実績 第24回全国障害者スポーツ大会へ福島県選手団を派遣した。 派遣期間：令和7年10月23日（木）出発 24日（金）公式練習 25日（土）開会式 26日（日）2日目 27日（月）閉会式 28日（火）帰県 開催場所：滋賀県 派遣人数：選手33名（個人競技のみ） 役員33名 派遣競技：○個人競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、 卓球（身・知・精）、（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、 フライングディスク（身・知）、ボッチャ（身） ○団体競技 なし		
参考	令和6年度実績 全国障害者スポーツ大会（佐賀県）：選手36名、役員35名を派遣		

【公益事業】（２）公認パラスポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級パラスポーツ指導員養成講習会開催事業	決算額	437,572円																				
概要	公認パラ障がい者スポーツ指導者を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。																						
内容	事業実績 障がいの基本内容を理解し、障がい者のスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身に付け、健康や安全管理を重視した指導ができる指導員を育成するための講習会を下記のとおり開催した。 名 称：令和7年度福島県パラスポーツ指導員養成講習会（初級） 期 日：令和7年7月12日（土）、7月13日（日）、7月19日（土） 会 場：郡山市障害者福祉センター 受 講 者：14名 共 催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会 後 援：（公財）福島県スポーツ協会、（公財）日本パラ障がい者スポーツ協会 講習会カリキュラム：																						
	<table><tr><td>カリキュラム</td><td>講師</td></tr><tr><td>各障がいの理解 身体障がい編</td><td rowspan="4">福島県立医科大学保健科学部 理学療法学科</td></tr><tr><td>障がいのある人との交流</td></tr><tr><td>各障がいの理解 知的障がい編</td></tr><tr><td>各障がいの理解 精神障がい編</td></tr><tr><td>全国障害者スポーツ大会の概要</td><td>県障がい者スポーツ指導者協議会</td></tr><tr><td>パラスポーツの意義と理念</td><td rowspan="3">（一社）日本車いすインストラクター協会</td></tr><tr><td>コミュニケーションスキルの基礎</td></tr><tr><td>各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫</td></tr><tr><td>パラスポーツ推進の取り組み</td><td rowspan="2">県障がい者スポーツ指導者協議会</td></tr><tr><td>パラスポーツに関する諸施策</td></tr><tr><td>スポーツインテグリティと指導者に求められる資質</td><td>桐蔭横浜大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科</td></tr><tr><td>安全管理</td><td>（一社）日本ボッチャ協会</td></tr></table>			カリキュラム	講師	各障がいの理解 身体障がい編	福島県立医科大学保健科学部 理学療法学科	障がいのある人との交流	各障がいの理解 知的障がい編	各障がいの理解 精神障がい編	全国障害者スポーツ大会の概要	県障がい者スポーツ指導者協議会	パラスポーツの意義と理念	（一社）日本車いすインストラクター協会	コミュニケーションスキルの基礎	各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫	パラスポーツ推進の取り組み	県障がい者スポーツ指導者協議会	パラスポーツに関する諸施策	スポーツインテグリティと指導者に求められる資質	桐蔭横浜大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科	安全管理	（一社）日本ボッチャ協会
	カリキュラム	講師																					
	各障がいの理解 身体障がい編	福島県立医科大学保健科学部 理学療法学科																					
	障がいのある人との交流																						
	各障がいの理解 知的障がい編																						
	各障がいの理解 精神障がい編																						
	全国障害者スポーツ大会の概要	県障がい者スポーツ指導者協議会																					
	パラスポーツの意義と理念	（一社）日本車いすインストラクター協会																					
	コミュニケーションスキルの基礎																						
	各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫																						
	パラスポーツ推進の取り組み	県障がい者スポーツ指導者協議会																					
	パラスポーツに関する諸施策																						
	スポーツインテグリティと指導者に求められる資質	桐蔭横浜大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科																					
	安全管理	（一社）日本ボッチャ協会																					
参考	令和6年度実績 期 日：令和6年12月7日（土）、8日（日）、14日（土） 会 場：郡山市障害者福祉センター 受 講 者：16名																						

事業名	②公認パラスポーツ指導者育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	152,183円
概要	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導員を派遣し、専門指導の知識を高め、指導員に対する指導ができる指導員及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導員を養成する。		
内容	事業実績 指導員が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について、下記のとおり助成した。 ○1名に対し助成 ・令和7年度 公認パラスポーツトレーナー養成講習会（1次・2次講習会）		
参考	令和6年度実績 1名に対し助成 (公認パラスポーツ医養成講習会（医師1名）)		

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,550円
概要	専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援する。		
内容	事業実績 各部活動費として助成金（計300,000円）を交付するとともに、下記のとおり「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援した。 （１）福島県障がい者スポーツ指導者協議会の日本パラスポーツ協会登録業務 （２）各種パラスポーツ開催時の指導者への協力要請に対する情報提供 （３）福島県障がい者スポーツ指導者協議会役員会の開催 開催日：令和８年３月２１日（土）		
参考	自主事業		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	① 選手指導者組織育成支援事業	決算額	0円
概要	競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者スポーツの各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。 また、競技を継続する上で特別な支援を必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。		
内容	事業実績 選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い、競技環境の充実を図った。 ○ 県内競技団体との連携によるボッチャ日本代表等選手選考会に向けた練習計画作成等の支援 ○ 中央競技団体との連携による競技環境向上支援（専門スタッフの配置・斡旋）、競技用車いす制作・改造等の支援 ・ 遠藤 裕美 令和４年４月～ ・ 長谷川 岳 令和５年４月～ ○ J-STARプロジェクト育成指定選手支援 ・ 日本ゴールボール協会と連携 龍田 紗綾 令和７年１２月～ ○ アスリート奨励金の推薦 ・ 福島県障がい者スキー協会より推薦 藤原 哲 ○ 福島パラ卓球連盟 組織再編支援 令和７年６月～		
参考	・ 自主事業 ・ 過去の支援実績 平成 ８年：知的障害者バスケットボール普及 平成 ８年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 ９年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成１２年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成１６年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成２１年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成２３年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成２５年：水泳選手育成支援 平成２７年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング制作支援 平成２８年：パラバドミントン選手支援 平成３０年：ボッチャ選手育成支援 令和元～３年：ウィルチェアーラグビー選手強化練習支援 令和４年度：ボッチャ日本代表選手選考会に向けた練習計画作成等の支援		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	982, 593円										
概要	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。												
内容	事業実績 下記の福島県代表団体競技チームに対し、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会に出場するために必要な経費や、強化練習会等を実施するために必要な経費を助成した。 ○助成先（４団体） <table><tr><td>・福島県F I Dバスケットボール連盟</td><td>バスケットボール（知的障がい）代表</td></tr><tr><td>・福島県車椅子バスケットボール連盟</td><td>車いすバスケットボール代表</td></tr><tr><td>・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会</td><td>グランドソフトボール代表</td></tr><tr><td>・福島県障がい者サッカー連盟</td><td>サッカー（知的障がい）代表</td></tr></table>			・福島県F I Dバスケットボール連盟	バスケットボール（知的障がい）代表	・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表	・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会	グランドソフトボール代表	・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表		
	・福島県F I Dバスケットボール連盟	バスケットボール（知的障がい）代表											
・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表												
・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会	グランドソフトボール代表												
・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表												
参考	令和６年度実績 <table><tr><td>・福島県F I Dバスケットボール連盟</td><td>バスケットボール（知的障がい）代表</td></tr><tr><td>・福島県車椅子バスケットボール連盟</td><td>車いすバスケットボール代表</td></tr><tr><td>・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会</td><td>グランドソフトボール代表</td></tr><tr><td>・福島県障がい者サッカー連盟</td><td>サッカー（知的障がい）代表</td></tr><tr><td>・（医）一陽会病院 一陽会病院</td><td>バレーボール（精神障がい）代表</td></tr></table>			・福島県F I Dバスケットボール連盟	バスケットボール（知的障がい）代表	・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表	・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会	グランドソフトボール代表	・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表	・（医）一陽会病院 一陽会病院	バレーボール（精神障がい）代表
・福島県F I Dバスケットボール連盟	バスケットボール（知的障がい）代表												
・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表												
・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会	グランドソフトボール代表												
・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表												
・（医）一陽会病院 一陽会病院	バレーボール（精神障がい）代表												

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	① 各種助成事業	決算額	63,200円
概要	全国大会等に出場する選手・役員に対して経費の一部を助成し、財政的支援を行った。		
内容	事業実績 （１）全国スポーツ競技会等出場助成事業 全国大会及び東北大会に出場した個人及び団体に対して、経費の一部を助成した。 ・ 個人競技 延べ２名（東北大会・全国大会） ・ 団体競技 延べ４団体（東北大会・全国大会）		
参考	自主事業 ※令和６年度 ・ 国際大会等出場助成事業 選手４名、スタッフ３名 ・ 全国スポーツ競技会等出場助成事業 個人競技延べ２名、団体競技延べ２団体に助成		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	1,684,532円
概要	障がいのある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動等を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。		
内容	事業概要 障がい者が日常的に運動・スポーツに接する機会を提供するため、障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導、競技体験等を年度通じて県内２会場で定期的に行った。 (１) 実施期日 令和７年４月３日（木）～令和８年３月２７日（金） 郡山会場：毎週木曜日、毎月第１日曜日開催 福島会場：毎月４回程度開催 (２) 実施回数 全９９回実施（郡山会場：６２回、福島会場：３７回） (３) 実施場所 郡山会場：郡山市障害者福祉センター 福島会場：福島トヨタクラウンアリーナ、ＮＣＶふくしまアリーナ (４) 参加者数 延べ７９９名参加（郡山会場：２７２名、福島会場：５２７名）		
参考	令和６年度実績 全１０４回実施（郡山会場：６２回、福島会場：４２回） 延べ６７７名参加（郡山会場：２６７名、福島会場：４１０名）		

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	決算額	813,292円
概要	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、特別支援学校・学級を卒業後も、身近な地域で定期的にスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	事業実績 障がい者スポーツ指導者協議会各6支部が開催する、地域スポーツ教室及びスポーツ大会の開催費用等を支援した。 ○県北支部 スポーツ教室：11回開催（参加者：377名） スポーツ大会：1回開催（参加者：88名） ○県中支部 スポーツ教室：11回開催（参加者：161名） スポーツ大会：1回開催（参加者：16名） ○県南支部 スポーツ教室：9回開催（参加者：52名） スポーツ大会：実施せず ○会津支部 スポーツ教室：12回開催（参加者：384名） スポーツ大会：1回開催（参加者：102名） ○相双支部 スポーツ教室：3回開催（参加者：55名） スポーツ大会：実施せず ○いわき支部 スポーツ教室：10回開催（参加者：440名） スポーツ大会：1回開催（参加者：47名） 【合計】 スポーツ教室：56回開催（参加者：1,469名） スポーツ大会：4回開催（参加者：253名）		
参考	※令和6年度実績 【6支部合計】 スポーツ教室：56回開催（参加者：1,151名） 【4支部合計】 スポーツ大会：4回開催（参加者：243名）		

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	1,398,015円
概要	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組む。		
内容	事業実績 障がいのある方が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を年間を通じて開催した。		
	(1) 実施期日 令和7年4月～令和8年3月		
	(2) 実施競技種目【12種目】		
	競技種目	実施回数	参加者数
	陸上競技	全10回	延べ214名
	フライングディスク	全9回	延べ128名
	ボッチャ	全9回	延べ199名
	卓球	全10回	延べ57名
	サウンドテーブルテニス	全3回	延べ31名
	バスケットボール（知的障がい）	全9回	延べ115名
	水泳	全3回	延べ5名
	アーチェリー	全4回	延べ11名
	サッカー	全10回	延べ187名
	グランドソフトボール	全5回	延べ52名
車いすバスケットボール	全7回	延べ107名	
ソーシャルスポーツ	全1回	延べ31名	
	合 計	全80回	延べ1,137名
参考	令和6年度実績 12種目実施（全82回、延べ1,026名参加）		

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	545,277円
概要	県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援する。		
内容	事業実績 県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成した。 ○助成先（５団体） ①福島パラ陸上競技協会 大会名：２０２５北海道・東北パラ陸上競技大会【World Para Athletics公認】 開催期日：令和７年９月２０日（土）～２１日（日） 参加者：５０４名（選手１８０名、スタッフ３２４名） ②福島県障がい者フライングディスク協会 大会名：第２６回福島県障がい者フライングディスク大会 開催期日：令和７年８月３０日（土） 参加者：２０１名（選手１５１名、スタッフ５０名） ③福島県ＦＩＤバスケットボール連盟 大会名：令和７年ひまわりカップ（東北・北海道ブロックＦＩＤバスケットボール交歓大会） 開催期日：令和７年９月２７日（土） 参加者：８７名（選手７２名、スタッフ１５名） ④福島県障がい者サッカー連盟 大会名：第１９回ＳＦＩＤＡ－ＣＵＰ 開催期日：令和７年９月２８日（日） 参加者：８５名（選手７５名、スタッフ１０名） ⑤福島県ボッチャ協会 大会名：第１５回福島県ボッチャ選手権大会 開催期日：令和７年１１月９日（日） 参加者：８０名（選手５０名、スタッフ３０名）		
参考	令和６年度実績 ５大会（５競技団体）に対し助成		

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	決算額	1,728,057円
概要	今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援する。		
内容	事業実績 将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。 ○指定アスリート：20名		
参考	令和6年度実績 指定アスリート10名		

事業名	⑦ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクト	決算額	327,303円
概要	県内在住の障がいのある方を対象に、競技体験・相談会を実施し、優れた素質や潜在的な能力を持つアスリートの原石を発掘し、将来的に本県を代表する選手として国内や世界で活躍する次世代パラアスリートの輩出を目指すと共に、本県のパラスポーツ競技人口の拡大を図る。		
内容	事業概要 ○名 称：令和7年度ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクト ○実 施 日：令和8年1月25日（日） ○会 場：郡山市障害者福祉センター ○参 加 者：12名（定員30名、応募13名） ※このほか参加者の家族など約20名 ○内 容：各競技団体による競技体験及び相談会、体組成測定 ○協 力：福島県障がい者スポーツ指導者協議会、福島県障がい者スポーツ医学委員会、福島県立医科大学保健科学部理学療法学科、郡山健康科学専門学校、日本トライアスロン連合、福島パラ陸上競技協会、福島県車いすバスケットボール連盟、福島県ボッチャ協会、福島パラ卓球連盟、福島県FIDバスケットボール連盟、福島県障がい者サッカー連盟、NPO法人スペシャルオリンピックス日本・福島 ○実施内容：競技体験・相談会 陸上、ボッチャ、車いすバスケットボール、デフバスケットボール、バスケットボール（知的障がい）、サッカー（知的障がい）、スペシャルオリンピックス競技（フロアホッケー）、卓球、バドミントン、パラトライアスロン 体組成測定		
参考	令和6年度実績 会場：郡山市障害者福祉センターほか 参加者：21名 令和5年度実績 実施なし 令和4年度実績 会場：福島県立郡山支援学校 参加者：24名		

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①ともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業	決算額	8,163,971円
概要	「パラアスリート等によるスポーツ教室」や障がいのある人となない人がともに楽しむことができる「インクルーシブなスポーツ体験」を開催し、障がいのある人となない人が、スポーツを楽しみながら、互いを理解し、尊重し、支え合い、共に暮らしやすい社会（共生社会）の実現を目指す。		
内容	事業実績 （１）パラアスリート等によるスポーツ教室 競技としてのパラスポーツの魅力発信や競技に取り組む障がい者への理解促進を図るため、学校、地域団体、企業、福祉団体、市町村等に出向いての実施やスポーツイベントへの出展、各種スポーツ教室での特別講師としての招聘など、様々な機会を捉えて、実施した。 ○実施回数：全１２回 ○参加者数：１，０５３名 ○実施内容：共生社会等をテーマとした講演、ボッチャ、車いすバスケット等に取り組む障がい者への指導等 ○講師：・村上光輝氏（東京2020パラリンピックボッチャ代表監督） ・豊島英氏（東京2020パラリンピック男子車いすバスケット代表主将） ・山田洋貴氏（東京2025デフリンピック男子バスケットボール選手） ・井上伸氏（パリ2024パラリンピックボッチャ日本代表監督） ・栄徳美沙季氏（パリ2024パラリンピックボッチャ日本代表トレーナー） ・増田徹氏（アテネ2004パラリンピックゴールボール女子日本代表監督） ・橋本大佑氏（日本車いすインストラクター協会 代表理事） ・その他、中央競技団体、県内競技団体、協会事務局など。 （２）インクルーシブなスポーツ体験 障がいのある人となない人がともに楽しむことができ、ボッチャ、卓球バレーなど手軽に楽しむことができるスポーツを中心とした体験会を実施した。 ○実施回数：全５５回 ○参加者数：２，００３名 ○実施内容：障がいのある人となない人がともに楽しむことができるインクルーシブなスポーツの体験会を実施した。 ○講師：・村上光輝氏 ・TEAM EARTH（県内車いすバスケットボールチーム） ・日本ゴールボール協会 ・加藤健人氏（ブラインドサッカー元日本代表。福島市出身） ・その他、協会事務局など。		

内 容	(3) パラ・デフスポーツ体験イベント・ブース出展等の実施 障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体や競技団体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合、イベント等でのブース出展も行った。 ○実施回数：全9回 ○参加者数：1, 071名 ○実施内容： ・5/5 あづま運動公園サイクルスポーツ広場 …ボッチャ ・6/1 KORIYAMAみらいフェスタ …デフサッカー ・6/21 カムカムエブリワンスポーツin二本松 …車いすバスケット、ボッチャ、シッティングバレー、ゴールボール ・9/27 キッズドリームミュージアム …ボッチャ ・10/6 双葉地方地域自立支援協議会くらし部会…ウォーキングサッカー、卓球バレー ・10/11 ふたばワールド …ボッチャ ・11/8 東京2025デフリンピック直前イベント …ボッチャ、ウォーキングサッカー ・11/29-30 デンソーエアーリービーズホームゲーム …ボッチャ ・12/21 ボッチャふくしまカップ2025併催イベント …ボッチャ、卓球バレー、車いすバスケット (4) ボッチャふくしまカップ2025の開催 障がいの有無や性別、年齢、国籍等に関係なく、全ての人が同じ場で共にスポーツに親しみ、競い合う機会を創出する企画として、ボッチャ競技による全県規模の大会を初めて開催した。 ○期 日：令和7年12月21日（日） ○会 場：円谷幸吉メモリアルアリーナ ○参 加 者：47チーム（182名） ※障がい者は23チーム（48名） (5) サポーター養成講習会の開催 パラスポーツに関心のある若年層から、地域に根ざしてパラスポーツを支える活動を行う人材を育成するため、県内にいる大学等の在学生・医療関係者（各地域の理学療法士及び作業療法士等）等を対象とした研修会を開催した。 ○実施回数：全3回 ○参 加 者：98名 ○会 場：県立医科大学保険科学部、医療創生大学、郡山健康科学専門学校 ○講 師：村上光輝氏（特任コーディネーター） 橋本大佑氏（（一社）日本車いすインストラクター協会代表）など
--------	--

内 容	(6) 障がい者スポーツ用具の貸出事業 パラスポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、専用用具等について貸出を行う。障がいがない人により深く体験してもらう機会とするとともに、障がいがある人が、経済的負担等によりスポーツに取り組むことを諦めることのないよう、個人の障がい特性や希望に応じた用具の貸出も行った。 ○貸出件数：全18件 ○貸出用具：ボッチャセット、ボッチャシート、競技用車いす、卓球バレーセット等 (7) デフリンピック機運醸成に向けた取組の実施 東京2025デフリンピックのサッカー競技の本県（会場：Jヴィレッジ）開催を契機とした、デフスポーツ（聴覚障がい者スポーツ）の振興と、大会の機運醸成を図った。 ① 県内プロスポーツチームとの連携事業 県内プロスポーツチーム等と連携し、ホームゲームにおいて入場者にPR資料の配布とデフリンピックPR動画の作成・配信を実施した。 ア 福島ユナイテッドFC ○期 間：令和7年6月1日（日）～11月30日（月） ○会 場：とうほうみんなのスタジアム（福島市） ○PR動画：・選手出演の動画10本作成。 イ いわきFC ○期 間：令和7年9月27日（土）、11月2日（日） ○会 場：ハワイアンズスタジアムいわき（いわき市） ○PR動画：・選手出演の動画2本作成。 ② 国際手話通訳テキストの無料配布事務 国際手話にかかるテキスト（全日本ろうあ連盟発行）について、県内の希望者向けにHP上での申し込みフォーム作成・受付・配布事務を行った。 ○配布冊数：43冊
参 考	前事業はスポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト。

事業名	②パラスポーツV R体験事業	決算額	1,937,937円
概要	スポーツのV R体験を通じて、スポーツの楽しさを伝え、笑顔を届けるとともに、障がいのある子どもたちの将来の自分づくりに向けた夢や希望を育み、未来へ挑戦するきっかけを提供する。		
内容	事業実績 重度障がい児・者のスポーツ参加を目的に、V R等によるスカイスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさを伝え、笑顔を届けるとともに、障がいのある子どもたちの将来の自分づくりに向けた夢や希望を育み、未来へ挑戦するきっかけを提供することを目的として、以下の事業を実施した。 ○名 称：パラスポーツ ふくしまの空を舞う ○期 日：令和7年11月28日（金） ○会 場：福島県立会津支援学校 ○参加者：97名（小学部児童18名、中学部生徒40名、高等部生徒39名） ○内 容：V Rフライト体験、飛行機キットの製作、紙飛行機製作など ○ゲ ス ト：室屋義秀氏（エアレース・パイロット） ○スタッフ：株式会社パスファインダー、ボランティア、協会職員		
参考	前事業（チャレンジド・スポーツ支援事業） 日 時：令和6年12月3日（火） 会 場：福島県立大笹生支援学校 参加者：115名（小学部児童77名、中学部生徒38名） 参 考：東北サンさんプロジェクト（※）のチャレンジド・スポーツの支援金を活用 ※ 東北サンさんプロジェクト サントリーグループが、「漁業支援」「子ども支援」「チャレンジド・スポーツ支援」「文化・芸術・スポーツ支援」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野での支援を受けている。		

事業名	③協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	48,511円
概要	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報誌を発行するほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する各種情報の提供を行う。		
内容	事業実績 (1) 広報紙の発行 令和7年度の活動状況等について報告・周知するため作成(1,500部)、関係機関等へ広く配付したほか、ホームページにも掲載した。 (2) ホームページ及び各種SNSによる情報発信 協会ホームページや各種SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)により随時情報発信を行った。		
参考	自主事業		

【公益事業】（６）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	①各種障がい者スポーツに関する情報収集 ②障がい者スポーツ医学委員会の開催	決算額	16,660円
概要	各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
内容	事業実績 1 各種障がい者スポーツに関する情報収集 - 令和7年度パラスポーツ東北ブロック連絡協議会定期総会 開催日：令和7年5月17日（土） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 - 令和7年度JPSA東北ブロック会議 開催日：令和7年9月2日（火） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 - 令和7年度パラスポーツ登録団体合同会議（WEB会議） 開催日：令和8年2月6日（金） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員2名 2 障がい者スポーツ医学委員会との連携 - 第63回福島県障がい者スポーツ大会（郡山市、田村市ほか） 令和7年5月25日（日）パラスポーツ医1名派遣 - 第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀大会 令和7年10月23日（木）～28日（火）パラスポーツ医1名派遣 - 令和7年度福島県障がい者スポーツ医学委員会の開催 - 第1回：令和7年4月14日（月）18時30分～ オンライン開催 - 第2回：令和7年12月8日（月）18時30分～ オンライン開催 - ポッチャふくしまカップ2025 令和7年12月21日（日）パラスポーツ医1名 - 令和7年度ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクト 令和8年1月25日（日）パラスポーツ医1名		
参考	自主事業		

【法人会計】（７）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	539,955円
概要	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料、法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	事業実績 ○ 会議の開催 （１）理事会 ア 第１回理事会 令和７年６月９日（月） - 令和６年度事業報告・収支決算について他 イ 第２回理事会 令和８年２月１９日（木） - 令和８年度事業計画・収支予算について他 ウ 臨時理事会 令和７年４月１４日（月）※議決省略（書面開催） - 事務局長の選任について 令和７年６月３０日（月）※議決省略（書面開催） - 令和７年度提示評議員会の開催に関する事項について （２）評議員会 ア 第１回評議員会 令和７年６月３０日（月） ※議決省略（書面開催） - 令和６年度事業報告・収支決算について他 イ 第２回評議員会 令和８年３月１１日（水） - 令和８年度事業計画・収支予算について他 （３）監事監査 令和７年５月２１日（水） - 令和６年度事業実績・収支決算について ○ 財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等 菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、決算資料の検査及び消費税申告額の計算を依頼した他、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けた。 当年度の実績は以下のとおり。 - 令和６年度決算資料検査・消費税申告額計算 令和７年５月８日（木） ※ このほか、疑義事項等について、適宜電話やメール等で助言・指導を受けた。		
参考			

事業報告書の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の内容としての「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。